

## 消火用ポリエチレンパイプ・継手

消火設備配管用 (JWWA K 144・145規格寸法品)



水道用耐震管としておなじみの水道配水用ポリエチレンパイプが消火設備用途で(財)日本消防設備安全センターの登録認定を取得。消防設備配管材として此まで以上にご採用いただきやすくなりました。

## 登録認定の内容

消火用ポリエチレンパイプの使用条件

最高使用圧力:1.25MPa(呼び径50~150)  
1.20MPa(呼び径200)

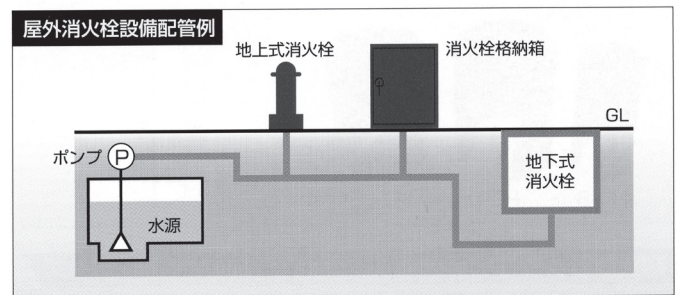
項目	明細
認定番号	φ50 : PL-031号 φ75・φ100 : PL-027号 φ150 : PL-030号 φ200 : PL-041号
型式記号	φ50 : KCPE-FD03 φ75・φ100 : KCPE-FD01 φ150 : KCPE-FD02 φ200 : KCPE-FD04
最大支持間隔	φ50・φ75 : 1m φ100・φ150・φ200 : 2m
用いることができる消火剤	なし(水のみ)



認定書

## 適用消火設備

- 屋外消火栓設備
- 屋内消火栓設備
- 湿式スプリンクラー設備埋設用途・湿式水噴霧消火設備埋設用途
- 湿式泡消火設備埋設用途(但し、消火剤混合装置の一次側で水配管に限る)



特長

耐震性

EF接合により、一体化した管路と伸びが大きい材料特製によって、軟弱地帯や地震時の地盤変位によく追従します。

施工性

軽量のため、人力で狭い施工場所での配管が可能。また、柔軟性を活かした直管による曲げ配管も可能です。

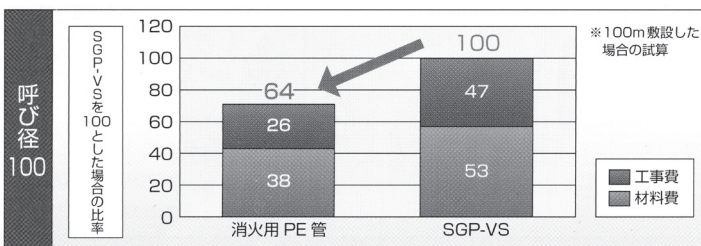
耐食性

酸性土壌、塩害地域でも優れた耐食性を継持。酸・アルカリに強く、電食の心配もありません。

## 日本水道協会規格の寸法体系を採用

- 呼び径に近い内径で、優れた流量性能を確保します。
- 日本水道協会規格JWWA K144・K145の寸法体系のを採用しています。
- 万一の事故等、一時補修時に豊富な水道専用部材の流用が可能です。

## コスト比較:消火用PE管と外面被覆鋼管



※工事費は、SGP-VSは公共建築工事標準単価積算基準(平成22年度版)を参照。

消火用PE管はメーカー歩掛(平成22年度版)で算出しています。

※材料費は建設物価平成23年5月号の単価相当(関東)で算出しています。

